



## リリースノート(参考資料)

AdRem NetCrunch 10

NetCrunch は AdRem Software が開発し所有する監視ソフトウェアである。  
株式会社情報工房は日本における総販売代理店である。

©2020 Johokobo, Inc.

## 目次

<b>1. 本資料について .....</b>	<b>1</b>
<b>2. NETCRUNCH 10 の新機能/変更点/修正点.....</b>	<b>1</b>
2.1. バージョン 10.1.1.4228.....	1
2.2. バージョン 10.2.0.4279.....	4
2.3. バージョン 10.3.0.4337.....	5
2.4. バージョン 10.3.1.4342.....	6
2.5. バージョン 10.3.2.4347.....	6
2.6. バージョン 10.4.1.4435.....	7
2.7. バージョン 10.4.2.4439.....	11
2.8. バージョン 10.5.1.4501.....	11
2.9. バージョン 10.6.0.4600.....	13
2.10. バージョン 10.6.1.4607.....	14
2.11. バージョン 10.7.0.4785.....	15
2.12. バージョン 10.7.1.4789.....	16
2.13. バージョン 10.8.1.4960.....	16
2.14. バージョン 10.8.2.4977.....	18
2.15. バージョン 10.9.0.5011.....	18
2.16. バージョン 10.9.2.5025.....	20
2.17. バージョン 10.9.3.5027.....	20
<b>3. 既知の問題 .....</b>	<b>20</b>
3.1. その他 .....	21
<b>4. よくある質問.....</b>	<b>21</b>
4.1. よくある質問および回答 .....	21

## 1. 本資料について

本資料では、AdRem NetCrunch バージョン 10.9.3.5027 日本語版(以下 10)について記しております。

## 2. NetCrunch 10 の新機能/変更点/修正点

NetCrunch 10 での新機能、変更点、修正点について記載いたします。

### 2.1. バージョン 10.1.1.4228

- IPv6 のサポート
- 監視センサーの刷新
  - 以下の監視センサーを利用可能
    - ・E メール(Data Email、Email Round-Trip、Mailbox)
    - ・WMI(File Shares、Process、Process Group Summary、Remote Ping、Time Difference、WMI Data、WMI Object、WMI Perfmon、WQL Query:Object)
    - ・Web/クラウド(Basic HTTP、Web Page)
    - ・アプリケーション(Apache Web Server)
    - ・セキュリティ(SSL Certificate)
    - ・データベース(SQL Query:Data、SQL Query:Object)
    - ・データ&ログ(Data File、Generic Agent、Text File、Text Log)
    - ・ネットワーク(DNS Query、RADIUS、System Uptime)
    - ・フォルダ & ファイル(File、Folder)
    - ・その他(Printer、Static Status)
- 監視センサーの機能更新
  - ・センサー名の編集機能の追加
  - ・プロフィール機能の追加
  - ・イベント抑制に対応
  - ・テスト機能の追加
- ノード監視テンプレートの追加
- リモートプローブの追加
- リモートセンサーノードの追加
- ビジネスステータスノードの追加
- SNMP の改良

- レイヤー2 マップの改良
- JavaScript 構文解析式の追加
- 統合アクションに以下のサービスの追加
  - ・MQTT
  - ・SMS Eagle
  - ・AlertOps
- VLAN のサポート範囲の更新
- ノードの複数選択での設定機能の拡張
- 組織グループの追加
- メールサーバーの冗長化に対応
- 各マップに Flows タブを追加
- アトラスウィザードの改良
- [オプション]ウィンドウの[アイコン]タブの刷新
- ノードの設定ウィザードの刷新
- UI の改良
- 仕様の変更
  - ・監視依存関係において、上位ノードが DOWN 時に下位ノードも DOWN になる
  - ・OS 監視はデバイスタイプから独立して利用可能
  - ・保留アラートがあるノードのアイコンを黄色にしないよう変更
    - ※ノードの一部のネットワークサービスが DOWN した場合や監視問題がある場合に、ノードのアイコンが黄色になります。
  - ・ノードの監視が無効化から有効化に切り替わった際、ノードが UP のイベントが生成される
- 機能の削除
  - ・Open Monitor の削除(監視センサーにて代用可能)
  - ・Traceroute マップ機能の削除
- 以下の問題を修正
  - ・サーバーのいくつかのメモリークを修正
  - ・フローサーバーでメモリークが発生する可能性がある問題を修正
  - ・コネクションブローカーのメモリークを修正
  - ・初期インストールのレイアウトが正しく読み込まれず UI が破損する問題を修正
  - ・コンソール再接続時にツールバーのみ動作する問題を修正
  - ・いくつかのサーバーのデッドロック(サーバーの緊急の再起動を引き起こす)を修正
  - ・非常に特殊な状況において、アトラスデータが失われる可能性がある問題を修正
  - ・サーバーの再起動後にセンサーの構成が失われる可能性がある問題を修正
  - ・サーバーの再起動がアトラスを破損する可能性がある問題を修正
  - ・コンソールがハングアップすることがある問題を修正
  - ・コンソールがサーバーへの接続を失うことがある問題を修正
  - ・安定性とパフォーマンスの改良

- ・ノード数が多いアトラスのサポート性を向上
- ・UNIX ベースシステムの Raw データでギャップが発生する可能性がある問題を修正
- ・ソースホストの変数を含む SNMP トラップの問題を修正
- ・監視の無効化後、主導サービスの監視間隔の問題を修正
- ・Windows イベントログのイベントログ一覧の取得の問題を修正
- ・監視パックのレポートへの監視センサーのカウンタを追加可能に修正
- ・いくつかの Linux アクションを修正
- ・ESX 仮想マシンへの依存関係の自動設定を修正
- ・JIRA、ConnectWise の統合アクションを修正
- ・サーバーの再起動後に誤検知のアラートが生成される場合がある問題を修正
- ・Web アクセスの安定性を修正
- ・Web アクセスの Solaris タブを修正
- ・アラート情報やパラメータに「<」記号が含まれているアラートの問題を修正
- ・特定のネットワークサービスの不正な応答の問題を修正
- ・Apache の監視センサーが HTTPS で動作するよう修正
- ・Cent OS 7 のメモリカウンタの値の表示に関する問題を修正
- ・手動で SNMP 変数を設定する際の問題を修正
- ・不明なエラー発生時に Windows イベントログ監視が再接続しない問題を修正
- ・10 GB のインターフェースに対して %HD Bandwidth Utilization カウンタが正しく計算されない問題を修正
- ・監視パックからインポートした場合に SNMP カウンタのアラートが相関関係を持たない問題を修正
- ・日単位レポートのメールの送信に関する問題を修正
- ・特殊な状況でアトラスツリーが不完全になる可能性がある問題を修正
- ・ノードのドラッグ/コピーに関するいくつかの問題を修正
- ・ダイナミックフォルダのいくつかの問題を修正
- ・MIB コンパイラのいくつかの不具合を修正
- ・ウィジェットのいくつかの問題を修正
- ・物理的セグメントマップ上のトラフィックの表示を修正
- ・Generic Agent センサーにおいて、有効期限に基づくイベントは保持期限を使用しないよう修正
- ・複数のノードの監視間隔を変更した場合、認証プロフィールがデフォルトに設定される問題を修正
- ・複数のノードへの新しいフィールドの追加時の問題を修正
- ・自動検出のフィルターの変更の問題を修正
- ・外部イベント経由で新しいノードを追加する際、IP アドレスとネットワークマスクが正しく設定されるよう修正
- ・ネットワークサービスカウンタのトレンドにギャップが発生する可能性がある問題を修正

- ・物理的セグメントマップの Avaya スイッチの表示の問題を修正
- ・同じ名前のインターフェースに同じトラフィックの速度の値を表示する問題を修正
- ・インターフェースタブで特定のスイッチへのトラフィックデータの表示に関する問題を修正
- ・特定の期間無効化されたのち、監視の自動有効化に関する問題を修正
- ・HiDPI 画面での表示を修正
- ・ユーザーもしくはグループに通知のアクションのいくつかの問題を修正
- ・レイアウトの問題を修正
- ・コンソールの最初の接続時にレイアウトにカスタム編集マップを設定するよう修正
- ・多くのノードを削除する際の問題を修正
- ・アラートのクローズ理由の表示を修正
- ・タイムアウトが 1,000ms 未満のネットワークサービスの追加を修正
- ・Web アクセスで改行されない名前を持つビュー(マップ)を開く際の問題を修正
- ・ノードの設定からノードの監視の無効化後、保留アラートのクローズに関する問題を修正
- ・フッターフィールドにパラメータを保存すると問題が発生するアラートメッセージ形式の不具合を修正
- ・2 つのコンソール間で画像を共有する際の問題を修正

## 2.2. バージョン 10.2.0.4279

- REST HTTP センサーの追加 - HTTP 要求の結果を処理可能
- Basic IPMI センサーの追加 - IPMI を使用して様々なハードウェアのパラメータの監視
- TruVision Recorder の追加 - Intelogix によるビデオレコーダーのパラメータを監視
- WMI HDD Health センサーの追加 - S.M.A.R.T.を使用して HDD ディスクを監視
- SSH Remote Ping の追加 - SSH 接続を使用してリモートで PING を実行
- IP Camera センサーの追加 - カメラからスナップショットを取得し、マップ上にウィジェットとして配置、HTT と ONVIF カメラをサポート
- スナップショットイメージウィジェットの追加 - カメラまたは他のソースからスナップショットイメージステータスオブジェクトを表示できるウィジェット
- XPath、JSONPath、DOM セレクタの追加 - XML、HTML、JSON データの解析に使用できる新しい構文解析式
- データパーサーの追加 - 外部データを NetCrunch カウンタなどに変換する外部データ形式(XPath、JSONPath、DOM セレクタを使用)や JavaScript を定義
- Web アクセスのトレンドビューアを刷新
- 透過処理した JPEG 画像をアイコンに利用可能
- デフォルトでアクティブなインターフェースのみ監視するよう変更

- バックアップの破損を避けるため、バックアップの実行前にアトラスのデータの整合性の確認を追加
- テーブルレポートでカスタムフィールドをサポート
- Round-Trip email センサーにて、認証不要の SMTP サーバーをサポート
- AS、JOIN、CAST、CONVERT を使用した SQL ベースのセンサーのクエリをサポート
- NetCrunch Server のアプリケーションクラッシュの原因となったライブラリの欠陥を修正
- 内部の SMTP サーバーが正しく動作しない問題を修正
- アップグレード後にメッセージ形式が失われる問題を修正
- NetCrunch サーバーの Temp ディレクトリのクリーンアップ後、NetCrunch サーバーがコンソールとの設定の同期を停止する可能性がある問題を修正
- フローサーバーが無効なフローテンプレートデータを例外処理する問題を修正
- アトラスのアップグレード中にプログレスウィンドウがハングする問題を修正
- 事前生成された SSL 証明書への誤ったパスを修正
- SSL Certificate センサーが DNS 名ではなく IP アドレスを使用して接続していた問題を修正
- 統合プロフィールの変更の保存を修正
- ノードをダブルクリックすると、間違ったノードのノードステータスウィンドウが表示された問題を修正
- % Processor Utilization カウンタが収集されない問題を修正
- NetCrunch サーバーがライセンス認証後に自動的に再起動されない問題を修正
- リモートマシンの再起動後に WMI センサーが動作を停止する問題を修正
- 全体的な安定性の修正

### 2.3. バージョン 10.3.0.4337

- デバイスが提供する全てのパラメータを監視できる一般的な IPMI センサーの追加
- GrafCrunch と Grafana のプラグインを最新バージョンの Grafana 5.0.1 へアップデート
- 物理的セグメントマップのレイアウトの向上
- インターフェース監視の変更 - フィルターを使用して、インターフェース監視ポリシーを設定できるよう変更
- インターフェース監視状態を動的ビューフィルタリングで設定できるように拡張
- デスクトップコンソールの安定性とパフォーマンスの向上
- セキュリティのアップデート - OpenSSL を最新バージョンの 1.0.2o、Java ランタイムをバージョン 10.0.1 へアップデート
- 複数選択で複数のノードの IP アドレスプレフィックスを変更できるように変更
- Oracle の接続性のパラメータの向上



- 一部の統合プロフィールの API を最新バージョンへアップデート(OPS Genie、Mojo Helpdesk、JitBit)
- マップから画像が消える問題を修正
- アトラスインポート後、画像が消える問題を修正
- 最後に選択したマップレイアウトが保存されない問題を修正
- Syslog のエンコードオプションの変更に関する問題の修正及び SNMPトラップのエンコードオプションの変更
- Squid3 の監視バックの制限事項の修正
- アップデートの確認が NetCrunch の新しいバージョンを検出できない問題を修正
- ESX6.5 のデバイスタイプが検出できない問題を修正
- COM GSM デバイスの設定に関する問題を修正
- 複数選択でカスタムフィールドが追加されたときにノードの IP アドレスが消える問題を修正
- ウィジェットが空白になる問題を修正
- DNS センサーのセンサーテストで MX レコードのみが返される事象に関する問題を修正

## 2.4. バージョン 10.3.1.4342

- アップグレード後、DLL がいないため、ESXi に接続できない問題を修正
- アトラスの作成、開く際にデッドロックが発生する問題を修正
- 多数の SNMP リクエスト(6 万以上)を処理する際の SNMP の問題を修正
- NetCrunch サーバー起動時に ESXi マシンに接続できない場合、再接続を試行しない問題を修正
- サーバーの再起動後、インターフェースが正常にカウントされない問題を修正
- リモートプローブノードのカウンタが正常に収集できない問題を修正
- マルチカウンタグラフ(カウンタでグループ化されたグラフ)が正常に表示されない問題を修正
- Unicode エンコーディングが必要なローカライズされたシステム(例:日本語、ロシア語)の Windows カウンタの名前インデックスを読み取ることに関する問題を修正
- アトラスインポート後に矛盾した状態にあった問題を修正
- カスタムグリッドがあるアトラスのインポート後、ダッシュボードのレイアウトが欠落する問題を修正

## 2.5. バージョン 10.3.2.4347

- 受信したテキストエンコーディングにより、フローサーバーが機能しなくなる問題を修正

- 受信したフローデータのフィールドが長すぎる場合、フローサーバーが機能しなくなる問題を修正
- NetCrunch サーバーノードの代わりにリモートノードから WMI の名前空間リストを読み取る必要がある問題を修正
- 単一のアラートが単一のアラートルールに関連する全てのアラートを閉じる可能性がある問題を修正
- インターフェースへのアラート追加に関連する問題を修正
- Web ページセンサーのリソースカウンタが消失する問題を修正
- NetCrunch サーバー搭載マシンの再起動後、監視が無効化になる可能性がある問題を修正
- NetCrunch サーバーの再起動後、カウンタが収集されない問題を修正

## 2.6. バージョン 10.4.1.4435

- Data Center のカスタムフィールドの追加  
Data Center のデフォルト値は、ESXi システムの読み取り専用 の DataCenterInfo のフィールドと同じです。フィールド値は NetCrunch で変更できますが、変更は ESXi システムの外部には転送されません
- 様々なベンダーやデバイスのサポートされた 100 以上のコンパイル済みの MIB の追加
- 3000 以上のデバイスベンダーを OUI データベースへ追加
- 下記の監視パックのアップデート
  - ・Cisco ASA VPN トンネル(SNMP)
  - ・Dell OpenManage(SNMP)
  - ・HP Systems Insight Manager(SNMP)
  - ・IIS、Juniper EX スイッチ HealthMon(SNMP)
  - ・Juniper SRX(SNMP)
- 下記の監視パックの追加
  - ・APC UPS Hardware(SNMP)
  - ・Buffalo TeraStation(SNMP)
  - ・Cisco ADSL(SNMP)
  - ・Cisco CBQoS(SNMP)
  - ・Cisco Nexus
  - ・Cisco UCS (ユニファイドコンピューティングシステム) (SNMP)
  - ・Dell EMC Isilon OneFS (SNMP)
  - ・Dell EqualLogic ディスク (SNMP)
  - ・Dell EqualLogic ヘルス (SNMP)
  - ・Dell iDRAC (SNMP)

- Eaton ATS (SNMP)
- Eaton UPS (SNMP)
- Fortinet Fortigate
- Fujitsu iRMC (SNMP)
- Generic UPS (SNMP)
- HP BladeSystem Health (SNMP)
- HP ProLiant Disk (SNMP)
- HP ProLiant Network Adapter (SNMP)
- IBM IMM (SNMP)
- IBM System x ディスク (SNMP)
- IBM System x システムヘルス (SNMP)
- Juniper NetScreen (SNMP)
- LenovoEMC システムヘルス(SNMP)
- MS Project Server 2013
- MS Project Server 2016
- MS SQL Server 2012-2017
- Mikrotik ルーター (SNMP)
- QNAP Disk (SNMP)
- Netgear ReadyNAS システムヘルス(SNMP)
- Palo Alto Networks ファイアウォール (SNMP)
- Poseidon (SNMP)
- QNAP システムヘルス(SNMP)
- RMON トラフィック (SNMP)
- SharePoint 2013
- SharePoint 2016
- SonicWall システムヘルス (SNMP)
- SonicWall VPN トラフィック (SNMP)
- Synology ディスク (SNMP)
- Synology システムヘルス (SNMP)
- Windows プリントキュー
- interSeptor Pro Environment (SNMP)
- 以下の監視センサーの追加
  - Basic SIP - SIP サーバーとの接続およびセッションネゴシエーションをチェックします
  - DELL iDRAC IPMI
  - DICOM C-Echo
  - Dell EMC
  - Docker コンテナ - Docker コンテナのリモート監視の許可
  - HP iLO IPMI
  - IBM IMM IPMI

- ・ICMPJitter - ネットワークの接続品質の確認
- ・IPMI ログ - IPMI ログメッセージ監視
- ・リモートスクリプトセンサー - SSH 経由でリモートから監視スクリプトの実行(リモートマシン上にスクリプトが存在する必要があります)
- ・スクリプトセンサー - NetCrunch サーバマシン上にあるスクリプトの実行の許可
- ・Traceroute
- ・INodes
- 以下の統合の追加
  - ・Amazon SNS - Amazon Simple Notification Service 経由のメッセージの送信
  - ・Microsoft Teams - Teams サーバ経由のメッセージの送信
  - ・Messagebird SMS - Messagebird サービス経由のメッセージの送信
- カスタムノードフィールドにピックリストフィールドタイプを追加
- ネットワークマスクが/31 や/32 をサポート - 対象ノードは IP ネットワークマップ上の Singletons に追加されます
- コンソールのいくつかの重要なパフォーマンスおよび安定性の向上(コンソールからサーバへの要求数を減少など)
- Cisco Nexus n6000 および Dell Networking N2048 のデバイスタイプの追加
- ESXi / VM ビューページの追加 - 特定のアトラスビューからの全ての仮想マシンが含まれます
- インターフェースのフィルタリングが改善され、新しい ifAlias のフィルターがインターフェースモニターフィルターに追加
- Folder センサーの向上 - 新しいカウンタと新しい 2 つのアラート条件の追加
- Basic HTTP、Rest HTTP の向上 - 新しい 2 つのカウンタの追加
- Hyper-V ホスト監視の追加 - Hyper-V 監視を検出して設定が可能
- Hyper-V VM 監視 - Hyper-V から VM の状態を監視し、重要な VM メトリックを取得します
- IPMI センサーの向上 - 全ての IPMI センサーの暗号化キー(KG)による認証のサポートを追加
- OpenSSL のバージョン 1.0.2p に更新
- 監視パックの検索の向上 - 全ての監視パックは検索タグでフィルタリングできます。監視パックとポリシーに一致するエントリの数が表示されます
- Juniper スイッチの監視の向上 - 物理セグメント上のトラフィックデータは、論理セグメントではなく物理インターフェースから読み取られます
- インターフェース監視の改善 - セカンダリインターフェースのインターフェース監視が自動的に無効になり、監視の重複や不要なライセンスの消費を防止します
- ネットワークインターフェース状態のイベントルールの作成によるインターフェース監視の向上 - インターフェースプロパティをフィルタリングしてインターフェースを選択できるようになりました

- インターフェース監視の向上 - 新しいイベント(パフォーマンスカウンタのイベントトリガー)と1つのコレクター(ネットワークスインターフェース傾向レポート)の追加
- アクションの組織フィルターの追加 - 特定の組織グループに属するノードに対してのみアクションを実行できます
- 物理的セグメントマップの向上 - 物理的セグメントマップ上のインターフェース使用率がより正確に表示されます(少数点以下5桁まで表示)
- SSL 証明書センサーの向上 - 新しいアラート(脆弱な公開鍵など)と追加の証明書フィールドがセンサーによってチェックが可能
- システムビューの追加 - Windows ノードのノードステータス上にサービス、プロセス、セッションリストを表示
- GrafCrunch、デバイスの Web ページを NetCrunch のデスクトップコンソールのウィンドウまたはタブとして追加が可能
- アラートまたはデータコレクターの設定中に特定のパフォーマンスオブジェクトを選択した後にサーバーへの接続が失われる場合がある問題を修正
- SNMPv3 監視のパケットの検出エラーを修正
- NetCrunch9.3 から NetCrunch10 へアップグレード後、センサーカウンタ (EmailMailBox:POP3、Generic Agent、File:Windows、File:Text、Folder:Windows)が正常に更新されない場合がある問題を修正
- 依存関係にする特定の状況下で [ノードが DOWN]のアラートが生成されない場合がある問題を修正
- コンソールの再起動後にアトラスツリーが完全に読み込まれない場合がある問題を修正
- いくつかの WMI 名前空間の選択ができない問題を修正  
(新バージョンにて、レベル 3 以下の名前空間のスキャン、手動での名前空間の入力の機能の追加)
- Windows 監視とインターフェース監視の干渉のため、Windows 経由のファイルセンサーが停止する場合がある問題を修正
- Linux エージェントレス監視で VMware vCenter Server アプライアンス 5.5 を監視すると SSH のハンドシェイクエラーが表示される問題を修正
- インターフェース監視のステータスに関係なく、ポートマッピングが表示されるように変更
- NetCrunch に新しい MIB を追加した後の不正な MIB グループ化に関する問題を修正
- プリンターセンサーがプリンター以外の SNMP デバイスで正しく動作しなかった問題を修正
- センサー設定のカスタム HTTP ヘッダーフィールドが空になり、変更できなかった問題を修正
- インスタンスに(:)コロンを含むカウンタの警告がノードの[ステータス]-> [パフォーマンスビュー]に表示できなかった問題を修正
- イベントログのカスタムビューに[全てのアラート]フィルターを適用すると、全アトラスの保留中のアラートが表示された問題を修正

- アトラスフォルダのレタリングに関する問題を修正
- ノードの[ステータス]->[ネットワークサービス]にある利用可能なチャートに「データがありません」と表示された問題を修正
- サーバーの再起動後にパフォーマンスのトリガーアラートを作成できないことがある問題を修正
- 特定の Juniper スイッチモデルでポートマッピングと VLAN が表示されないことがある問題を修正
- ソースノードリストが空でフローグローバルカウンタのデータコレクターを追加できない問題を修正
- Generic Agent センサーで値のアラートが機能しない問題を修正
- REST HTTP センサーのカウンタをデータウィジェットおよびパフォーマンスチャートに追加できない問題を修正
- 特定の SNMP カウンタについて間違ったデータが表示される問題を修正
- 特定の HP スイッチのポートマッピングにデータが表示されない問題を修正
- AdRemCefHelper プロセスが NetCrunch コンソールを閉じた後でも実行されており、過度に CPU を使用する問題を修正
- ノードステータスに表示された監視時間は、非 IP ノードでは表示されない問題を修正
- [監視パックの選択]ダイアログに欠けているアイコンがある問題を修正
- ノードステータス上で監視依存関係が表示されない問題を修正

## 2.7. バージョン 10.4.2.4439

- 安定性の向上

## 2.8. バージョン 10.5.1.4501

- 130 個の新しい MIB の追加
- 新しいデバイスタイプの追加 - Windows 2019 のサポートの追加
- 物理的セグメントマップのロードを改善
- Limit SNMP pending request - このオプションは、NetCrunch が SNMP デバイスに送信する要求の数を制限して、デバイスの過負荷を防ぐことが可能
- マルチインスタンスカウンタをフィルタリングする機能の追加 - マルチインスタンスパフォーマンスカウンタに追加され、例えば、cd-ro を除く全てのディスクを選択することが可能
- Active Directory Replication Sensor - このセンサーは、複製エラーのために Windows ドメインコントローラーの確認が可能
- カスタムフィールド - 編集フィールドからピックリストへの変換、及びその逆の変換が可能
- Windows プロセスビューの向上 - プロセスのパラメータを確認することが可能

- **監視パック** - ユーザーが作成した静的監視パックから動的監視パックへの変換、およびその逆の変換が可能
- **NetCrunch REST API** - REST リクエストを使用して、ノード、ビュー、認証情報、フォルダ、およびセンサーに関する情報を追加、削除、取得が可能
- **通知パネル** - 新しい通知パネルからプログラムのアップデート、監視用の認証情報の欠如、ライセンスまたはサブスクリプションの有効期限、ナレッジベースまたはブログの最新の記事に関する情報にアクセスが可能
- **Pending Reboot センサー** - 保留中の再起動をチェックが可能
- **スクリプトセンサーの向上** - PowerShell スクリプト用の PSCredential オブジェクトのサポートを追加
- **セキュリティアップデート** - OpenSSL のバージョンを 1.0.2 へアップデート
- **Windows アップデートセンサー** - このセンサーは、コンピュータ上の Windows アップデートのステータスを監視します。インストールされたアップデート、インストール可能なアップデート、インストールされていないアップデートを検知し、一定期間内に発生したアップデートの失敗、インストールの失敗をカウント
- 下記の監視パックの追加
  - ・**Generic ZyXEL IES Series (SNMP)** - シャーシ、システムパラメーター、電圧、温度、ファステータスを含む
  - ・**Generic ZyXEL ZyWALL (SNMP)** - CPU 使用率、メモリ使用率、ブロックされたパケット、VPN トンネル、ネットワークインターフェースを含む
- 「インターフェースが UP」のアラートを追加できない問題を修正
- センサーを追加した後、監視エンジンが利用できない場合がある問題を修正
- スケジュールされたレポートが送信できない場合がある問題を修正
- TruVision レコーダーセンサーが一部のデバイスに接続できなかった問題を修正
- ネットワークスキャンによって追加されたワークステーションで DNS 名が自動的に解決されなかった問題を修正
- データコレクターをノードフロー設定に追加できなかった問題を修正
- イベントログの詳細ペインにオプションがない問題を修正
- MSSQL データベースセンサーのカスタムポートに関連する問題を修正
- デモアトラスから通常のネットワークアトラスに切り替えた後、一部のノードでライセンスされていないと誤って表示されることがある問題を修正
- サーバー起動時の「音の再生」に関する問題を修正
- リモートプローブが NetCrunch サーバーに接続できなかった問題を修正
- 起動スクリプトが実行されなかった問題を修正
- インターフェースアラートがバージョン 9.3 から正しくアップグレードされなかった問題を修正
- NCServer サービスの再起動後に Web ブラウザのオプションが見つからない問題を修正

- ネットワークアトラスのアップグレードまたはインポート後に監視間隔がデフォルトの「5分」に設定されていた問題を修正
- 安定性の向上

## 2.9. バージョン 10.6.0.4600

- パフォーマンスビューにユニファイドスケーリングを追加 - 軸スケールが一致するときにチャート上の値を視覚的に比較できます
- フィルタリングの追加 - ノード、インターフェース、ポートマッピング、ノードパフォーマンスステータス、計算されたカウンタの各ウィンドウにフィルタリングと検索オプションを追加
- コネクションブローカーの同時接続数を 5 に変更
- 下記の監視パックの追加
  - ・Emerson Leiberts UPS (SNMP)
  - ・Extreme Networks (SNMP)
  - ・Huawei (SNMP)
  - ・MSMQ - Windows Message Queueing
- ネットワークインターフェースウィンドウ - 選択したインターフェースの現在の状態とトラフィック履歴を詳細に確認が可能（物理セグメントまたはルーティングマップ内のリンクから確認ができます）
- 新しいリモートプローブバージョンのリリース - WMI、カメラ、SQL など 75 のサービスとサポートされている全てのセンサーの監視が可能
- ノードパフォーマンスステータスの刷新 - より良いチャートや監視されたオブジェクトまたはカウンタ名によるフィルタリングが可能
- ポートマッピングの刷新 - 直接または間接的にポートに接続されているノードを簡単に検索が可能
- リモートプローブでのサービス検出のサポート - リモートプローブによって監視されているノードは、通常のノードとしてサービス検出機能を追加
- 下記の機器をレイヤー2 マッピングでサポート
  - ・エクストリームネットワークスイッチ
  - ・Huawei スイッチ
- ノードステータスのアップデート - MAC アドレス、利用可能な場合の接続先と VLAN に関する情報が追加
- OpenSSL のバージョンを 1.0.2r にアップデート
- WMI センサーのアップデート - WMI センサーに認証レベルパラメータを追加
- Windows プロセスとプロセスグループサマリのアップデート - Virtual Bytes カウンタと Private Bytes カウンタのサポートを追加
- Web クライアントプロトコルのセキュリティ上の脆弱性を修正
- ネットワークサービスの UP イベントが不適切なタイミングで発生する問題を修正
- トラフィック監視が機能しなくなる問題を修正



- カスタマフィールドに関する複数の問題を修正
- 管理者権限のユーザーを使用した GrafCrunch の接続に関する問題を修正
- 外部イベントに有効/無効のボタンがない問題を修正
- アトラスに 1000 以上の多数のセンサーを追加した時にコンソールが重くなる問題を修正
- PDF 形式のレポートを Web アクセスで表示できない問題を修正
- Legacy ライセンスにおいて、ユーザーアカウントを AD アカウントにリンクするためのオプションを失う問題を修正
- HTTP 接続のカスタムタイムアウト値が使用されていなかった問題を修正
- 複数選択でのウィジェット管理に関連した最適化の問題を修正
- 複数選択でのセンサー管理と編集に関連した最適化の問題を修正
- 複数選択 (編集、削除など) における多数のノードに対するアクションに関連した最適化の問題を修正
- マップが Web コンソールで正常に反映されない場合がある問題を修正
- 通知グループにレポートを送信できない問題を修正
- クイックバックアップでユーザー設定が保存されない問題を修正
- 複数のインターフェースに対するトラフィック表示の問題を修正
- ドッキングされていないイベントログに誤ったポップアップメニューが表示される問題を修正
- 安定性とパフォーマンスの向上
- パフォーマンスビューの修正と向上
- 「利用可能な新しいバージョン」の通知が正しくない問題を修正

## 2.10. バージョン 10.6.1.4607

- OpenSSL のバージョンを 1.0.2s にアップデート
- 「SSH スクリプトの実行」が正しく機能しない場合があるという問題を修正
- Web アクセスで誤ったマップが表示される問題を修正
- 特定の場、非表示の保留のイベントがダッシュボードのみに表示される問題を修正
- 特定の WQL クエリに対してのオブジェクトセンサーの誤ったカウンターリストが表示される問題を修正
- 特定の場、不必要な「サービス UP」のイベントが発生する問題を修正
- ルーティングマップで特定の Cisco スイッチが表示されない問題を修正
- カスタムレポートで「以前から」の列が欠如していた問題を修正
- GrafCrunch で数千の監視対象メトリクスを持つノードのカウンタを追加する際の問題を修正
- SQL センサーの特定のカウンタが「データなし」という結果になる問題を修正
- NCServer サービスを停止すると TrendViewer で AppCrash が発生する問題を修正

- SQL センサーで CAST 関数を使用したクエリをサポートしていない問題を修正
- Web アクセスでイベントの詳細が表示されない問題を修正
- アトラス変更後、ESX Server ビューの問題が正しく消去されない問題を修正
- ソートが不安定なためにアラートが切り替わるダッシュボードの問題を修正

## 2.11. バージョン 10.7.0.4785

- Hyper-V ページビューに、ESX および ESXi / VM と同様に Hyper-V 仮想化ホストおよび Hyper-V 仮想マシンに関連する情報表示の追加
- Windows タブに Windows マシンの稼働時間列を追加
- リモートプローブによって監視されるノードに対してデバイスタイプを設定の追加
  - この機能により、デバイスタイプを持つ全てのノードを NetCrunch サーバーによって直接監視される全てのノードのようなフィルタービューに配置可能
- ノードステータスウィンドウにある パフォーマンスタブの改善
  - グラフをクリックして、24 時間、7 日間、30 日間のデータを最小、最大、平均で表示します
- IPSLA センサーにテスト機能を追加
- SQL センサーに特定のデータベースを使用していないクエリ用に「データベースなし」オプションを追加
- Email Round Trip センサーにメッセージの受信を待機する最大時間のタイムアウトプロパティを追加
- 下記の監視パックの追加
  - ・CyberPower Environment (SNMP)
  - ・CyberPower PDU (SNMP)
  - ・CyberPower UPS (SNMP)
  - ・Ironport (SNMP)
  - ・Riedo Networks E3METER (SNMP)
  - ・Rittal CMC III (SNMP)
  - ・Rittal CMC TC (SNMP)
  - ・Riverbed SteelFusion (SNMP)
  - ・Riverbed SteelHead (SNMP)
  - ・Server Technology Sentry 3 (SNMP)
  - ・Sophos XG Firewall (SNMP)
- Putty のバージョンを 0.71 にアップデート
- Python スクリプトを使用したデータパーサーとテキスト解析式の作成に対応
- OpenSSL のバージョンを 1.0.2t にアップデート
- WBEM データ、WBEM オブジェクト、WBEM WQL クエリ: HTTP / SOAP プロトコルを介した WBEM 監視に対応
- 関連アラートを定義できない問題を修正

- REST API で管理者とは異なるユーザーで資格情報タイプにアクセスできなかった問題を修正
- ノード監視が有効になった後にネットワークサービスダウンアラートが生成される問題の修正
- テンプレートの SNMP カウンタにソースノードを選択できなかった問題の修正
- 不適切なイベントによって Windows サービスアラートが閉じられた問題の修正
- テンプレートによって管理されるノードでのアラート定義の複製に関連する問題の修正
- 誤って生成された条件付きアラート「Pending for more than」に関連する問題の修正
- 間違った場所にマップオブジェクトが表示される問題の修正
- マップ表示に関する軽微な問題の修正
- 全てのインスタンスが選択されているカウンタの説明に関連する問題の修正
- SNMP カウント画面における全てのインスタンスが選択されている場合カウンタの説明の誤りに関連する問題の修正
- データパーサーの切り替えた時にコンテンツが削除される可能性がある問題の修正
- 翻訳に関する問題の修正

## 2.12. バージョン 10.7.1.4789

- SQL 監視に必要な DBRequester.exe ファイルの欠落を修正
- 一部の Windows システムビューが空を表示していた、データが長時間表示されていた問題を修正
- Python パーサーがセンサーで既に構成されたパーサーが置き換わる場合がある問題を修正

## 2.13. バージョン 10.8.1.4960

- Cisco CBQoS センサー を使用することで、SNMP を介して QoS 統計を監視可能。
- NetCrunch コンソールから Web アクセス用の自己署名証明書を直接作成することが可能
- IP SLA Multi-operation センサーは、単一の構成を使用して複数の操作を監視可能
- LDAP Authentication センサーは LDAP サーバーに接続し、指定された識別名とパスワードを使用して接続確認可能
- NetFlow 機能で vCenter 仮想スイッチからの IPFix をサポート
- SNMP v3 の新しい認証プロトコルとして、ハッシュ関数の SHA-2 ファミリに基づくハッシュメッセージ認証コード(HMAC)を使用する USM 用の新しい HMAC-SHA-2 認証プロトコル:  
SHA-256(192 ビットに切り捨てられます)、SHA-512(384 ビットに切り捨てられます)をサポート
- 下記の監視パックの追加

- Allied Telesis AlliedWare Plus (SNMP)
- Aruba Access Point (SNMP)
- Fortinet FortiSwitch (SNMP)
- HPE Nimble Storage - Disk Array (SNMP)
- HPE Nimble Storage - Network (SNMP)
- HPE Nimble Storage - System (SNMP)
- Tripp Lite - Cooling (SNMP)
- Tripp Lite - PDU (SNMP)
- Tripp Lite - UPS (SNMP)
- TACACS + センサーは、サーバーの接続を確認し、指定されたユーザーの認証確認が可能
- 既存の監視センサー機能で全てのファイルとフォルダーに対して TFTP をサポート
- WMI Battery センサーは、コンピューターシステムに接続されたバッテリーを監視可能（ラップトップバッテリーまたはコンピュータに接続された UPS）
- 外部のセキュリティ監査者により発見された、Web コンソールに関連する重大が 7 つのセキュリティ脆弱性を改善
- デスクトップコンソールの安定性に係わる修正  
(本リリースでは、デスクトップコンソールの安定性を大幅に改善しました)
- Web コンソールセッションでサーバー接続を解放しない問題の修正
- Windows および SNMP モニターのトレンドチャートのデータギャップに関する問題を修正
- NetCrunch サーバーの再起動後、Linux および ESXi アラート(パフォーマンストリガー)が適切にクリアされない問題の修正
- 特定の状況では、トレンドデータにギャップが含まれる場合がある問題の修正
- テンプレートノードでカスタムプロファイルの使用をサポート
- ダッシュボードを全画面表示に切り替えた後に戻ると、グラフィカルマップが表示されないことがある問題の修正
- ESX ノードステータスに関連する問題(可能マシンのホストメモリ列が常に 0 と表示される)の修正
- 全体的な安定性とパフォーマンスの向上
- 検出ウィザードによって ESXi 6.5 に割り当てられた誤ったデバイスタイプに関連する問題を修正
- ノードに基づいたテンプレート作成後に、ノードテンプレートフィールドに関連する情報が空として誤って表示される問題の修正
- ページ ID に「-」(ダッシュ)が存在する場合、センサーを編集できなかった問題の修正
- 物理セグメント上のリンクが「監視対象外」として誤って表示される問題の修正
- NetCrunch サーバーの高ハンドル使用率(リーク)に関連する問題の修正
- 監視が無効になっている場合のアトラスでのバックアップ作成に関する問題の修正
- 監視エンジンのパラメータ設定では認証プロファイルを変更できなかった問題の修正

- NetCrunch サーバーへのリモート接続が適切に切断されなかった問題の修正

## 2.14. バージョン 10.8.2.4977

- OpenSSL のバージョンを 1.0.2u にアップデート
- 特定のシナリオで生成された複数の「ノードダウン」イベントに関連する問題の修正
- NetCrunch サーバーのポートを変更すると、システムとセンサー監視が失敗する問題の修正
- マップのウィジェットが高解像度の環境で適切にレンダリングされなかった問題の修正
- 設定保存後に、算出されたカウンタ情報が適切に収集されない問題の修正
- SNMP カウンタに基づくトレンドデータのギャップに関連する問題の修正
- 2 つのアクションを実行する条件付きアラートに関連する問題の修正
- 同じデータパーサーを使用するスクリプトセンサーによって保存および表示される誤った値に関連する問題の修正
- コンソールとサーバーの安定性の修正
- ESX ホストで生成された問題に関連する修正
- 軽微な修正とパフォーマンスの改善

## 2.15. バージョン 10.9.0.5011

- 統合アクションに以下のサービスの追加
  - ・Service Desk Plus
- 下記の監視パックの追加
  - ・Checkpoint VPN (SNMP)
    - VPN トンネルのステータス、復号化エラーを表示および通知します
  - ・Fortigate VPN (SNMP)
    - VPN トラフィックとセッション統計を監視します
  - ・Nutanix ハイパーバイザー (SNMP)
    - クラスタの状態、ストレージ容量とプロセッサ、ハイパーバイザーのメモリを監視します
  - ・Nutanix ストレージ (SNMP)
    - ディスク容量、コンテナ、ストレージプール容量を監視します
  - ・Nutanix VM (SNMP)
    - Nutanix 仮想マシンに関連するメモリとプロセッサに関するデータとアラートを収集します
  - ・Pulse Secure ハードウェア (SNMP)
    - MAG アプリケーションブレードの温度、RAID、ファン、電源のステータスを監視します
  - ・Pulse Secure ネットワークインターフェース (SNMP)
    - インターフェースがダウンした場合にアラートを発生させます
  - ・Pulse Secure システムヘルス (SNMP)

- CPU、メモリ、ディスクの高使用率、スワップおよびログファイル容量に関するアラートを発生させます
- Pulse Secure ユーザー (SNMP)
  - Web、クラスタ、同時会議ユーザーに関連するカウンタを監視します
- RDP サービス
  - RDPに関連する Windows サービスのステータスを監視し、特定のマシンのセッション数を表示します
- SMSEagle (SNMP)
  - SMSEagle デバイスの全体的な状態、信号強度、メッセージ統計、プロセッサ、メモリ、ディスク、インターフェース、ネットワークサービス、およびその他のパラメータを監視します
- 新しいネットワークサービス監視 - Windows RDP
- 新しい監視センサー
  - Windows レジストリ
    - WMI を使用して Windows レジストリから値を取得および監視します
  - Windows Task Scheduler
    - Windows タスクスケジューラタスクのステータスを監視します。タスク構成が変更された場合、またはタスクが予定どおりに実行されなかった場合にアラートを実行します
- Windows の新しいシステムビュー
  - タスクのリスト、タスクのステータス、トリガー、Windows タスクスケジューラに関連する重要な情報が表示されます
- REST API の更新
  - REST API 経由でノードを追加するときに監視プロバイダー(プローブ)を選択できるようになりました
- リモートプローブ経由で監視されているノードで生成されたアラートの状態が正しくなかった問題を修正
- インターフェーストラフィックのデータ送信メトリックの誤ったスパイクを修正
- Windows イベントログへの書き込みアクションに関連する問題を修正
- ポートアグリゲータの変更が誤って発生してしまう問題を修正
- フロートレンドのランダムなギャップを修正
- ノードパフォーマンスステータス上の snmp カウンタの空の拡張されたチャートを修正
- E3Meter の監視パックのカウンタがデータなしになっていた問題の修正
- 暗号化された SNMP v3 を使用しているノードがダウンしてからアップした場合、認証情報が変更されていなくても、snmp に関連するエラーが発生する問題を修正
- フローのデータソースの切り替えに関する問題を修正
- 監視テンプレートを削除した後、ネットワークサービスとセンサーがノードから消える問題を修正
- インターフェース監視のフィルターにライセンスにより無効の条件を追加
- カスタムレイアウトのコピーに関する問題を修正

## 2.16. バージョン 10.9.2.5025

- IP ネットワークマップビューを変更すると、ランダムにコンソールがクラッシュする問題を修正
- 特定のケースで重大なメモリリリークが発生する問題を修正
- 1000 を超えるノードの監視の処理におけるパフォーマンスを向上
- SNMP テーブルの処理に関するパフォーマンスの問題を修正
- Flow Analytics ウィンドウのハングアップに関する問題を修正
- Web ページセンサーの読み込みエラーのアラートに関する問題を修正
- SNMP リクエストリミッターが正しく機能しない問題を修正
- MIB ブラウザのモジュールの表示に関する問題を修正
- 10.9.1 で導入された SNMP テーブルの処理エラーに関する問題を修正
- MIB ブラウザでの OID のコピーに関する問題を修正
- IP SLA ステータスのレイアウトに関する問題を修正

## 2.17. バージョン 10.9.3.5027

- UserProfiles.XML ファイル内の誤った XML エンコーディングが原因でサーバーが起動できなかった問題を修正
- トップチャートに間違った文字を入力すると、間違った RegExp でフィルターサーバーがクラッシュする問題を修正
- <いずれか>から<不明>への変化を監視する際の wmi オブジェクトステータスの問題を修正
- 監視パックポリシー画面でのフォルダの管理に関する修正
- SQL センサーで DB サービスに接続するときのデフォルトのリクエストタイムアウトが小さすぎた問題の修正
- フォルダを追加した後に監視パックポリシー画面を閉じるときの AV を修正
- デスクトップコンソールと NetCrunch サーバーの全体的な安定性の向上
- Windows カウンタを選択するときに欠落しているカウンタの説明を修正
- SNMP が SNMP に関連しない ICMP エラーをカウントしていた問題を修正
- Atlas を再スキャンすると、カスタム SNMP プロファイルが表示される問題を修正
- フローダッシュボードで選択したデータソースの数が間違っていた問題を修正

## 3. 既知の問題

NetCrunch 10 での既知の問題について記載いたします。

### 3.1. その他

- Web アクセスを行った場合、マップを表示した際にレイアウトが崩れて表示される。  
回避方法:一度マップの[ノード]→[詳細]タブなどを表示したのち、再度[マップ]タブを表示する。
- WMI ツールのイベントログや、Windows イベントログ監視イベントで発生したイベントログのパラメータに表示される発生時刻が間違っている。
- SNMP プロフィールに SNMPv1 を使用した場合、値を収集できないことがある。  
回避方法:SNMPv2 を使用する。
- ノードを追加した際にアイコンや OS 監視をデフォルトから変更した場合、追加されたノードに設定が反映されない。
- マップテンプレートで図形や線が引き継がれない

## 4. よくある質問

NetCrunch について、よくある質問について記載いたします。

### 4.1. よくある質問および回答

- ノードの設定の[DNS 名]欄にアンダーバーや日本語を使用できない。  
回答:バージョン 8 より仕様変更のため、使用できなくなりました。ファイルからノードの挿入を用いた場合やバージョンアップを行った場合、DNS 名にアンダーバーや日本語を使用している場合、プロパティの変更を行うことができません。
- バージョン 6 からのアップグレード後、アラートのメールの件名に DNS 名が表示されない。  
回答:バージョン 7 より、イベントログの表示情報の仕様が変更されております。これにともない、デフォルトでメールのメッセージ定義に使用されている「\$Common.AlertInfo」に含まれる情報が変更されました。DNS 名を表示するパラメータとして「\$Properties.DisplayName」がございますので、メッセージ定義にこのパラメータの挿入をご試行ください。  
メッセージ定義の編集方法について、以下に例示いたします。
  1. メインメニュー→[監視]→[アラートメッセージ形式]を選択します。
  2. [アラートメッセージ形式]ウィンドウにて[メッセージ形式]を選択します。
  3. [email-txt]または[email]を選択します。
  4. 編集したいメッセージ定義に[パラメータの追加]からパラメータを挿入し、保存します。



■ Admin のパスワードが分からない。

**回答:** Admin のパスワードが分からない場合、nccli.exe を使用してパスワードをリセットすることができます。nccli.exe は、NetCrunch のインストールフォルダ内に用意されています。

以下に手順を記載いたします。

1. NetCrunch 搭載サーバーのコマンドプロンプトにて、以下のコマンドを実行します。  
nccli.exe reset-admin-password
2. コンソールを起動すると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名に Admin、パスワードは空欄に設定の上、[OK]をクリックします。
3. [NetCrunch パスワードの変更]ウィンドウにて Admin のパスワードを設定の上、[OK]をクリックします。

■ NetCrunch から受信したメールが文字化けする。

**回答:** NetCrunch では、テキスト形式のメールの文字コードが「UTF-8」に設定されています。また、メールのヘッダー内に「MINE-Version: 1.0」という表記が存在しないため、メーラーによっては MINE 形式と認識できず、文字化けする場合がございます。テキスト形式のメールが文字化けする場合、メーラー側で受信したメールを「UTF-8」で表示するか、NetCrunch が送信するメールを HTML 形式に変更することをご検討ください。

■ Windows イベントログの監視が行えない。

**回答:** NetCrunch のサービスの 1 つに、AdRem NetCrunch Server というサービスがございます。このサービスの起動ユーザーは、通常、ローカルシステムアカウントになっております。起動ユーザーがローカルシステムアカウントの場合、環境によっては、Windows イベントログの監視が行えない場合がございます。この事象を解消するには、起動ユーザーを変更する必要があります。

以下に手順を記載いたします。

※Windows の操作については、OS や表示方法によって異なります。

1. NetCrunch のコンソールおよびコネクションブローカーを終了します。
2. Windows のスタートメニューから、[NetCrunch サーバーの停止]を選択します。
3. Windows のタスクマネージャーの[プロセス]タブにて、「AdRem NetCrunch Server」または「NCServer.exe」が存在しないことを確認します。
4. Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]を選択し、サービスツールを起動します。

5. [サービス]ウィンドウ上にて、[AdRem NetCrunch Server]を右クリックし、[プロパティ]を開きます。
6. [AdRem NetCrunch Server のプロパティ]ウィンドウの[ログオン]タブにて、[アカウント]を選択し、[アカウント]と[パスワード]を設定します。[アカウント]は、[参照]ボタンから設定を行います。  
※Administrators 権限のローカルユーザーまたは NetCrunch の Windows 監視ドキュメントの条件を満たしたドメインユーザーを設定します。
7. Windows のスタートメニューから、[NetCrunch サーバーの開始]を選択します。
8. Windows のタスクマネージャーの[プロセス]タブにて、「AdRem NetCrunch Server」または「NCServer.exe」が存在することを確認します。
9. NetCrunch のコンソールを起動します。
10. 監視対象の Windows ノードを右クリック→[ノードの設定]を選択します。
11. 新しく開いたウィンドウの[監視]タブの[Windows]の項目の右側にある歯車のアイコンをクリックします。
12. [Windows]ウィンドウの[認証プロフィール]の項目で[編集]をクリックします。
13. [認証プロフィール]ウィンドウにて、[ユーザー名]と[パスワード]を設定します。すでに[ユーザー名]などが設定されている場合は、設定をいったん消去し、再度設定します。
14. [OK]をクリックし、各ウィンドウを閉じます。

※手順[10.]から[14.]は、各 Windows ノードに対して設定する必要があります。

※AdRem NetCrunch Server の起動ユーザーの変更後、監視問題が発生する場合がございます。手順[14.]まで実施いただき、各 Windows ノードの認証プロフィールの設定後、監視間隔以上の時間監視問題が解消されない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

- CSV ファイルからノードを追加する際、名前を設定して追加した。当初はノードのキャプションにはホスト名が表示されていたが、いつの間にか名前の表示が消えていた。

**回答:** CSV ファイルから追加したノードの名前が名前解決できないものである場合、ノードの設定にある[DNS 名]欄に名前が反映されません。この場合、[DNS 名]欄が空欄となり、空欄のまま設定を保存しますと、ノードのキャプションに表示されていた名前が削除されます。ノードの設定を編集する際には、[DNS 名]欄を再設定していただく必要があります。

[DNS 名]欄を使用する以外にノードに名前を設定する方法としては、[表示名]欄とフィールドを使用する方法が考えられます。[表示名]欄を設定しますと、任意の

名前をノードのキャプションに反映することができます。また、フィールドに設定することで、メール通知などのメッセージのパラメータを使用することができます。